

教育こそが、 日本の未来を変えていく

今、高校の教員だけではなく、学校の外からも「教育こそが、日本の未来を変えていく」という信念をもって、高校生の教育に関わろうとしている方がたくさんいます。そのトップランナーともいえる方々に、それぞれの原点とチャレンジ、思い描く未来について語っていただきました。



思い続け、諦めなければ、夢は叶う。
「どうせ変わらない」を捨て、挑戦しよう

(株)植松電機 代表取締役社長 植松 努 さん

PROFILE

うえまつ・つとむ ●子どもの頃から紙飛行機が好きで宇宙に憧れる。大学卒業後、航空機設計を手がける会社での勤務を経て、父が経営する植松電機に入社。カムイ式ロケットの研究を進めていた北海道大学大学院・永田晴紀教授との出会いをきっかけに、宇宙開発事業に着手。以来、ロケット開発、宇宙空間と同じ無重力状態を作り出す微小重力の実験(植松さんの背景に写る実験装置は世界に3つしかない希少なもの)、小型の人工衛星の開発など数々の研究開発を進める。近年は全国の企業や学校で講演・研修や体験学習を行い、自らの可能性を広げることの大切さを伝えている。





夢に向かって諦めずに努力することの 大切さを伝えたい

10年ほど前、当時小学生だった娘のクラスが学級崩壊してしまっただけです。いじめがなくなり、次々にターゲットが変わるような状態でした。原因は、みんな自分に自信がもてないからだと感じました。自信がなければ、自分のことも人のことも攻撃してしまいますから。何かをやり遂げることで自信をつけたいと思い、ロケット教室を開催しました。失敗しながら試行錯誤して、いつの間にかみんなで助け合うようになって、最後、ロケットが飛ぶ。みんな、とてもいい顔をしていました。そうするうちに、いじめがなくなったんです。

この経験から、学校には子どもの自信を奪ってしまう仕組みがあるんじゃないかと考えるようになりました。そして、ロケット教室や修学旅行生の受け入れ、中高生向けの講演などを始めました。うちに来る学校を見ていても、生徒に失敗させまいと、先生が場を仕切る姿がよく見られます。でも、本当は失敗はたくさんさせたほうが良い。失敗したときに怒ったり反省させたりするのではなく、「だったら、こうしてみたら？」と声をかける。なぜ失敗したか、次はどうすればうまくいくなかにつなげられれば、失敗は失敗じゃない。安全にチャレンジして失敗することができるのも、学校という場の役割だと思うのです。

今の子どもたちは、理解力があるし思いやりもあって能力が高いのだけれど、主体性が足りない。インターシップに来る学生も、「何をさせてもらえるんですか」という受け身の姿勢なんです。小学生の頃までは、自分の好きなことや得意なことをやったら評価されます。でも、中学受験を意識する時期から、「そんなことする暇があれば勉強しろ」と言われてしまう。大人が良しと評価することに価値があって、それ以外は価値がない…となってしまいます。そうやって育った子どもたちに、自分でやりたいことを見つけて、それに向かって諦めずに努力することの大切さを伝えたい。そんな思いで、活動を続けています。

思うは招く。大事なのは、 自分を信じ、諦めないこと

中高生に向けて講演をするとき、よく先生に「子どもたちに夢を与えてください」と言われるのですが、

夢は与えられるものではありません。私は、自分の体験を交えながら、「自分の夢を諦めなくていいよ」という話をするだけです。私自身、幼い頃から宇宙に憧れ、ロケットの仕事をしたと思ってきました。でも、「どうせ無理」と言われて悔しい思いをしてきました。だから、生徒が感想文に「ロケットや宇宙に興味を持ちました」ではなく「自分のやりたいことをやろうと思いました」と書いてくれるのは、とても嬉しいんです。「それはやめたほうがいい」「将来を考えるとこっちがいいんじゃないか」と大人は自分の古い価値観でいろんなことを言うてくるけれど、それを信じないでほしい。自分で判断し、自分が本当にやりたいことをやってほしい。生徒たちにはそう伝えていきます。

そして、子どもたちには、「自分は有益である」「誰かの役に立てる」ということを実感してもらいたいと思っています。学問や技術は、人を助けるため、社会を良くするために人類が積み重ねてきたものです。その蓄積を学び、さらに新しい知を学べる若い人たちには、世界を救う力があるんです。「そんなこと言っても、どうせできるわけない」という人がいますが、「どうせできない」と思っていることは絶対にできません。私は講演でいつも「思うは招く」という言葉を伝えるのですが、できないと思えばできないし、できると思えばできる。自分を信じること、そして諦めずに続けることは、とても大事なことです。

教育が変われば、社会は大きく変わる。 今こそ挑戦を！

今、高校教育が大きく変わろうとしているのを感じます。先生方もがんばっていらっしゃることでしょう。先生というのは、生徒にとって影響力のある存在です。先生の言葉で人生が変わる生徒がたくさんいます。初心を忘れず誇りと責任感をもって、立ちまはる壁に負けないでほしいと思います。

教育が変われば社会は大きく変わるはずですが、変化の激しい時代、行き先の見えない時代が来るといわれていますが、初めてのことは誰にも何もわかりませんから、先生だって失敗して当然です。今こそ、挑戦するときです。私の夢は、学校を作ること。年齢にかかわらず主体的に学びたいと思ったときに学べる場を作り、これからの社会で必要とされるエンジニアを育てたいと考えています。教育を通じて、一緒に世界を変えましょう。